

碧南市公共施設カルテ

調査年度	令和3年度
------	-------

施設名	碧南ふれあい作業所		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	保健・福祉施設	中分類	障害福祉施設	施設番号	71
-----	---------	-----	--------	------	----

所管部局	福祉課
------	-----

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 中山町1丁目16番地1 (中央小学校区)	敷地面積	3,916 ㎡
		うち借地面積	1,118 ㎡

2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	作業所、駐輪場、プロパン庫				
複合・併設施設	-				
建築年度	平成7年度	経過年数	26年	総取得費	383,696千円
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	1,254 ㎡	うち借用面積	- ㎡
階数(地上)	3階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し

3 管理運営データ

利用状況※1	H30年度	令和元年度	令和2年度	平均利用者数	管理形態		
	69人	67人	66人	67人	指定管理(管理料)		
施設コスト※2 (H30~R2年度) (ファシリティコスト)	内 訳		金額(円)	内 訳			
	収 入	利用料等	110,099,034	支 出	人件費(賃金含)	-	
		国 費	-		修繕料	8,562,350	
		県 費	-		①維持コスト	火災保険料	15,388
		その他	11,665,956		維持管理委託料	1,376,956	
		市費(一般財源)	5,731,170		敷地借上料	1,417,992	
	合 計		127,496,160	工事請負費	-		
	施設外観			その他維持費	-		
				小 計	11,372,686		
				②運営コスト	人件費(賃金含)	87,162,768	
			光熱水費	4,140,977			
			その他委託料	3,478,382			
			その他運営費(事業費)	21,341,347			
			小 計	116,123,474			
			合 計(①+②)	127,496,160			
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト※3		延床面積1㎡当たりの施設コスト※4				
	1,902,928 円/人		101,672 円/㎡				
	利用者1人当たりの負担額※5		市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6				
1,643,269 円/人		78 円/人					
特記事項							

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

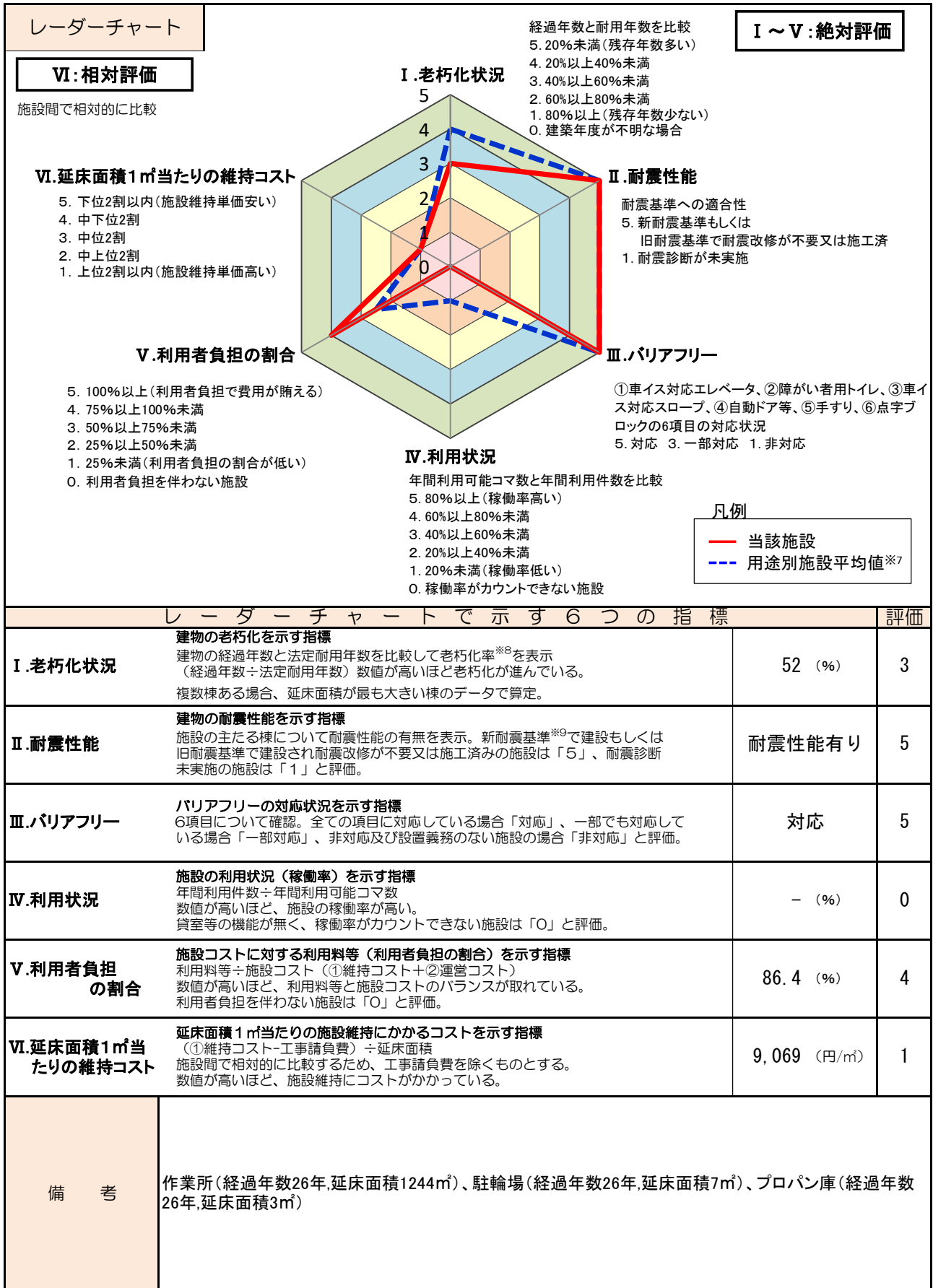
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

※4 延床面積1㎡当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(令和2年度4月1日現在の73,180人)

4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。
 ※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。
 ※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

碧南市公共施設カルテ

調査年度	令和3年度
------	-------

施設名	へきなん福祉センターあいくる		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	保健・福祉施設	中分類	障害福祉施設	施設番号	72
-----	---------	-----	--------	------	----

所管部局	福祉課
------	-----

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 山神町8丁目35番地	敷地面積	6,209 ㎡
	(新川小学校区)	うち借地面積	358 ㎡

2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	へきなん福祉センターあいくる				
複合・併設施設	碧南市心身障害者福祉センター、こどもプラザこころつくしんかわ、碧南市市民活動センター				
建築年度	平成25年度	経過年数	8年	総取得費	1,030,440千円
建物構造	鉄筋コンクリート造+鉄骨造	延床面積	1,427 ㎡	うち借用面積	- ㎡
階数(地上)	3階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し

3 管理運営データ

利用状況※1	H30年度	令和元年度	令和2年度	平均利用者数	管理形態		
	5,000人	5,000人	5,000人	5,000人	直営		
施設コスト※2 (H30~R2年度) (ファシリティコスト)	内 訳		金額(円)	内 訳			
	収 入	利用料等	486,708	支 出	①維持コスト	人件費(賃金含)	-
		国費	-		修繕料	364,067	
		県費	-		火災保険料	40,680	
		その他	3,530,044		維持管理委託料	11,752,544	
		市費(一般財源)	25,041,549		敷地借上料	232,000	
	合 計		29,058,301	工事請負費	5,605,127		
	施設外観			その他維持費	-		
				小 計	17,994,418		
				②運営コスト	人件費(賃金含)	824,008	
			光熱水費	6,167,736			
			その他委託料	1,971,804			
			その他運営費(事業費)	2,100,335			
			小 計	11,063,883			
			合 計(①+②)	29,058,301			
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト※3		延床面積1㎡当たりの施設コスト※4				
	5,812 円/人		20,363 円/㎡				
	利用者1人当たりの負担額※5		市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6				
97 円/人		342 円/人					
特記事項							

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

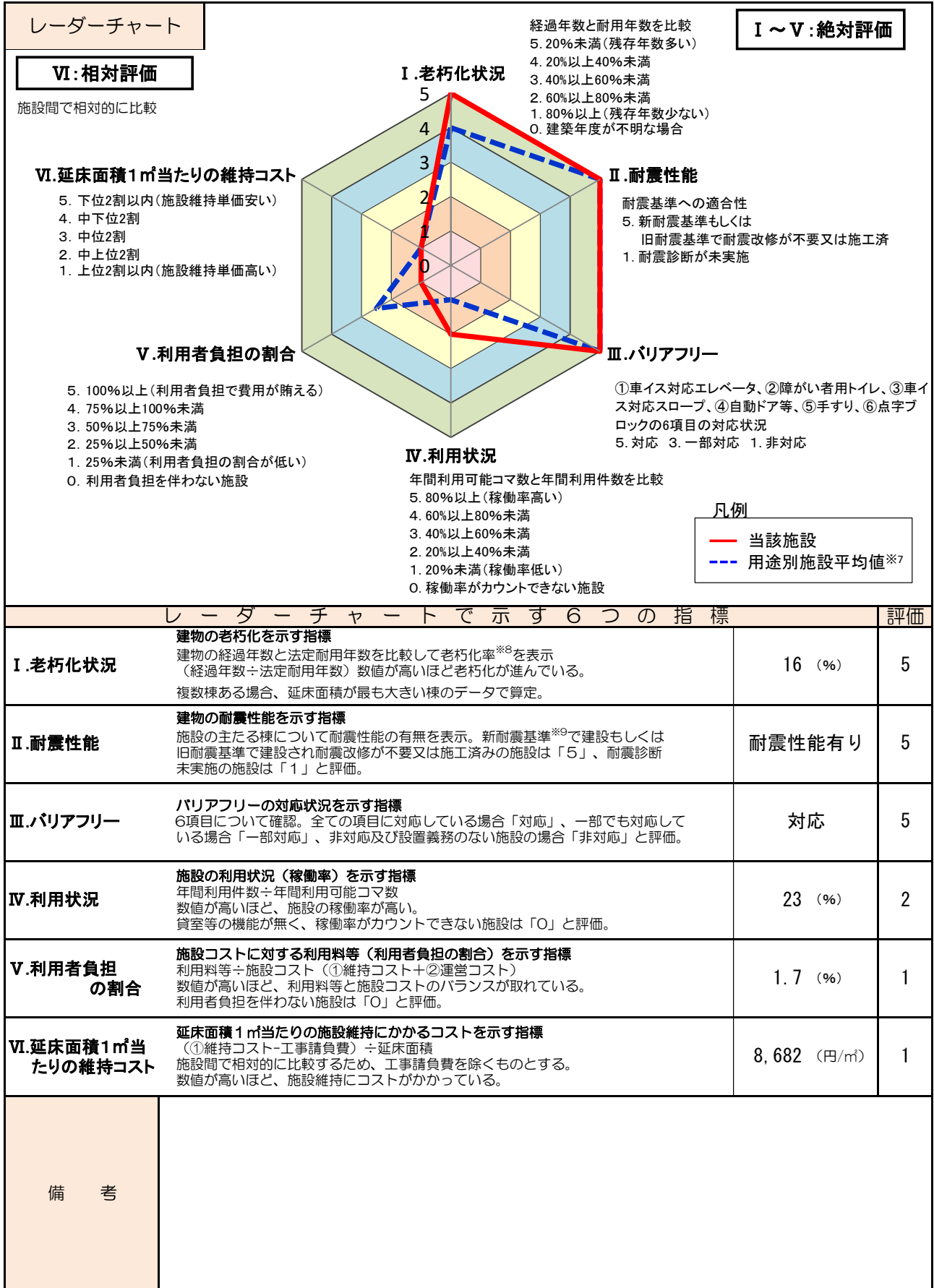
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

※4 延床面積1㎡当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(令和2年度4月1日現在の73,180人)

4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

碧南市公共施設カルテ

調査年度	令和3年度
------	-------

施設名	碧南市心身障害者福祉センター		
従たる施設の場合、主たる施設名	へきなん福祉センターあいくる		

大分類	保健・福祉施設	中分類	障害福祉施設	施設番号	73
-----	---------	-----	--------	------	----

所管部局	福祉課
------	-----

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 山神町8丁目35番地	敷地面積	- m ²
	(新川小学校区)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	心身障害者福祉センター				
複合・併設施設	へきなん福祉センターあいくる、碧南市市民活動センター、こどもプラザこころつくしんかわ				
建築年度	平成25年度	経過年数	8年	総取得費	- 千円
建物構造	鉄筋コンクリート造+鉄骨造	延床面積	1,106 m ²	うち借用面積	- m ²
階数(地上)	- 階	階数(地下)	- 階	避難所指定	指定無し

3 管理運営データ

利用状況※1	H30年度	令和元年度	令和2年度	平均利用者数	管理形態		
	5,000人	5,000人	5,000人	5,000人	指定管理(管理料)		
施設コスト※2 (H30~R2年度) (ファシリティコスト)	内 訳		金額(円)	内 訳			
	収 入	利用料等	113,204	支 出	①維持コスト	人件費(賃金含)	-
		国 費	-		修繕料	106,981	
		県 費	-		火災保険料	26,910	
		その他	-		維持管理委託料	605,064	
		市費(一般財源)	10,937,825		敷地借上料	-	
	合 計		11,051,029	工事請負費	-		
	施設外観			その他維持費	-		
				小 計	738,955		
				②運営コスト	人件費(賃金含)	5,370,049	
			光熱水費	-			
			その他委託料	2,326,591			
			その他運営費(事業費)	2,538,912			
			小 計	10,235,552			
			合 計(①+②)	10,974,507			
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト※3		延床面積1m ² 当たりの施設コスト※4				
	2,195 円/人		9,923 円/m ²				
	利用者1人当たりの負担額※5		市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6				
23 円/人		149 円/人					
特記事項							

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

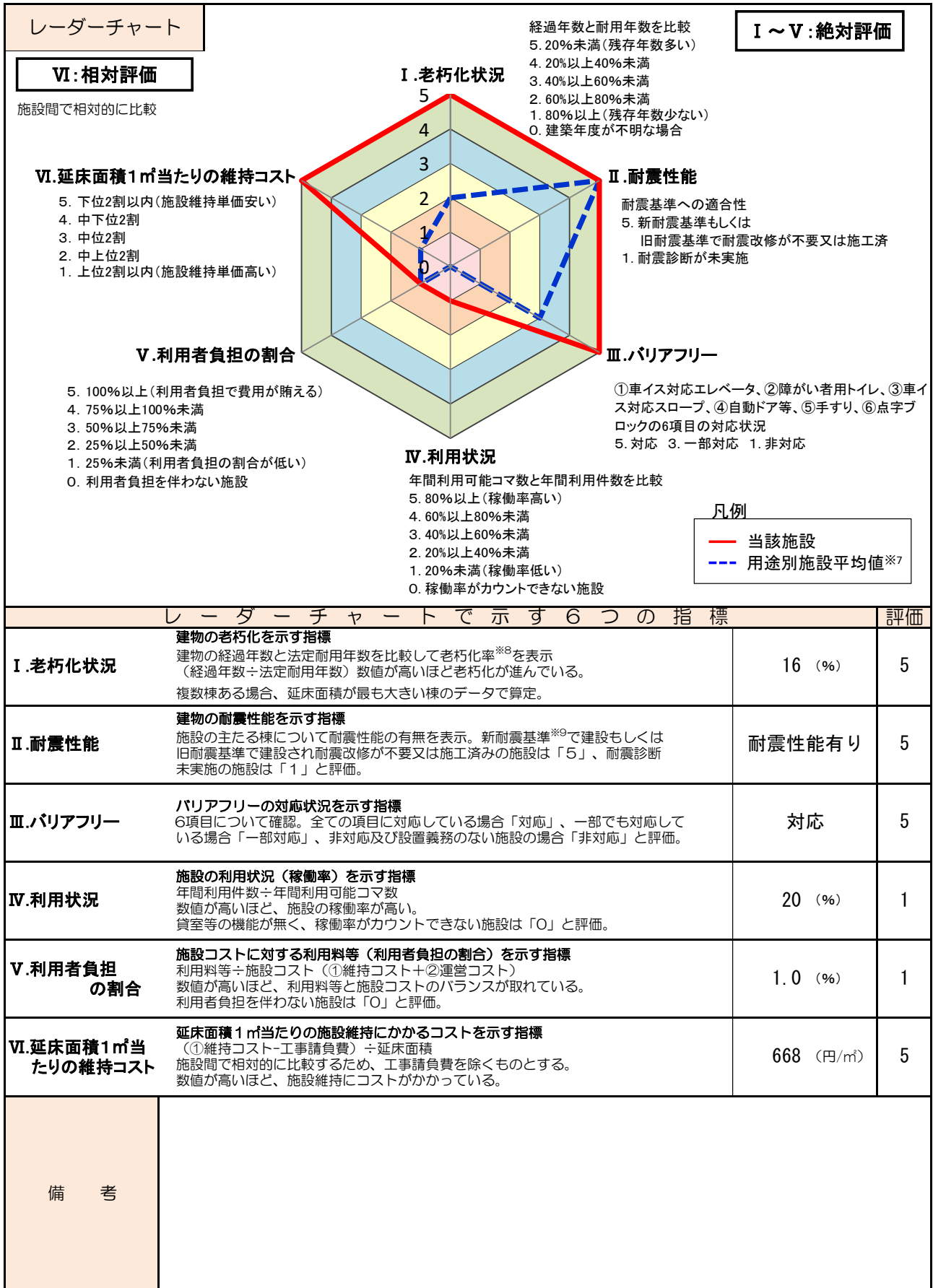
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

※4 延床面積1m²当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(令和2年度4月1日現在の73,180人)

4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。
 ※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。
 ※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。